

2013年7月31日
日本電産株式会社**日本電産中央モーター基礎技術研究所インターンシッププログラムの実施について**

日本電産株式会社は、モーター基礎技術研究所（以下、当研究所）を2012年に設立。現在約100名の研究者を東京大崎、台湾、シンガポールの3拠点に配置し、各地の政府研究機関や大学と連携しながら、グローバルかつオープンなスタイルで、モータおよびその応用分野の基礎技術、応用技術の研究を推進しています。

このたび、当研究所で初めてのインターンシッププログラムを実施することとなりましたので、お知らせいたします。

■プログラム名

「2013年夏・台湾インターンシッププログラム」

■プログラム概要

今年度のインターンシッププログラムは、2013年8月19日～23日の4泊5日間で、日本及び台湾で研究者との技術交流活動を中心に行います。

台湾では、研究成果のビジネス化を推進し続ける政府系機関として日本のメディアでも注目の高い、**台湾工業技術研究院（ITRI）**、モータ分野での卓越した研究活動で著名な**国立成功大学**を訪問し、それぞれの機関での素晴らしい研究活動を視察するとともに、訪問先の研究者たちとのディベート等、様々な企画を通じて、グローバルかつオープンな研究活動の素晴らしさを体感してもらうことを目的としています。

また、日本及び台湾にある当研究所の視察も合わせて実施し、企業での研究活動にも触れてもらい、参加者のキャリアイメージの形成にも役立つプログラムとする所存です。

■参加者

今年度は、東京大学、東京工業大学、大阪大学、名古屋大学、芝浦工業大学、東京都市大学より6名の若手研究者を選抜いたしました。

インターンシップ開催に向けて

「内向き日本人」「元気のない電機産業」「大学は変わるか」など日本の閉塞感を危惧する論調がマスコミなどをにぎわせています。

日本を代表する一民間企業としてこうした風潮を打破するため何か貢献はできないかと考え、日本電産創立40周年となる本年、若く志高い大学院生に、日本電産が有する台湾チャンネルを使ってグローバル化の一端を体験していただく「台湾セミナー」を初めて企画いたしました。

この企画について、弊社がチャンネルを持つ国内大学に声をかけたところ多くの大学より有志が手を挙げてくれたので、来る8月19日から23日までの日程で実行する運びとなりました。

台湾では、奇しくも弊社と同じ1973年に設立され、この40年の間に既に225社以上の起業を実現している台湾工業技術研究院（ITRI）や、不毛な土地を台湾最大の穀倉地帯に変貌させた「烏山頭水庫」ダムと灌漑用水網の建設を成し遂げた日本人技師八田與一の話が今でも語り

つながっている台南市にある国立成功大学の協力を頂いて、モータおよびその応用研究の最前線を視察いただきます。また移動の途上では、日本の技術が展開されている台湾新幹線乗車も体験してもらいます。

加えて、参加者自身の研究発表と訪問先研究者との意見交換の機会も設けています。グローバルな、そして、政府系研究機関や大学とタイアップした先進研究活動を、弊社台湾モーター基礎技術研究所の研究者のバックアップのもとで体験してもらうことで、その後の研究活動の幅を広げるのにきっと役立つインターンシップになると思います。

中央モーター基礎技術研究所 所長
福永 泰

以上

本件お問合せ先

日本電産株式会社 中央モーター基礎技術研究所 業務部 ゼネラル・マネージャー 美馬 俊一
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-20-13 TEL 03-3494-1027 (ダイヤルイン)

報道機関お問合せ先

日本電産株式会社 広報宣伝・IR部 ゼネラル・マネージャー 田村 徳雄
〒601-8205 京都市南区久世殿城町 338 TEL 075-935-6150 (ダイヤルイン)